

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

②施設・事業所情報

名称：	もりの風保育園	種別：	認可保育園	
代表者氏名：	園長 朝倉 美智子	定員（利用人数）：	90（103）名	
所在地：	226-0018 神奈川県横浜市緑区長津田みなみ台2-12-12			
TEL：	045-507-9779	ホームページ：	http://morinokaze-hoikuen.com/	
【施設・事業所の概要】				
開設年月日	2013年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：	株式会社Berry			
職員数	常勤職員：	27名	非常勤職員：	12名
専門職員	保育士	29名	栄養士	2名
	看護師	2名	調理員	3名
	用務員	1名		
施設・設備の概要	居室等	保育室 5 遊戯室 1 乳児室 1	設備等	調理室 1 調乳室 1 医務室 1 事務室 1 トイレ 7 保育士休憩室 1 屋外遊戯場 冷暖房

③理念・基本方針

- ・子ども一人ひとりが安心して自分らしさを発揮できる生活環境をつくり「思いやり」「意欲」「自主性」「集中力」「創造力」を育てます。
- ・『異年齢グループ保育』（3～5歳児）を通して、子どもと子どもの自然なかかわり合いによって互いに違いを認め合いながら、協力し合う「育ちあい」の保育を目指します。
- ・保育所が果たすべき役割として、一つは「保育のニーズが多様化するなかで、子どもたちが安心してゆったりと、しかもやる気いっぱいに育ち合う場として保育所が求められていること」、もう一つは「次世代を担う子どもを育成する家庭を社会全体で支援する為に保育所が地域の信頼に応えながら地域の育児力を高め、保育問題を地域で解決していく役割を担うこと」、この2つの重要性を受けとめ、日々、子どもの生活実態とそれを取りまく地域社会の把握につとめ、保育の充実、運営の発展、児童福祉の増進を目指し、保育所が地域と一体となって子育て支援に取り組みます。

④施設・事業所の特徴的な取組

園の開園時間は7時～20時とし、保護者の就労や子育て家庭の状況に応じた支援を行っています。園舎からは自然保護区域の森が見渡せ、全保育室に森からの風、自然光が導かれる設計になっています。園庭にはぶどうやみかんなどの果樹も実ります。さらに大きな落葉樹を植え、一年を通して、新緑、木陰、落葉、陽だまりなど四季折々の自然を感じながら、子どもが心地よく過ごせるようにしています。園庭の一隅にはビオトープを設置し、子どもが自然に触れながら、五感を使って伸び伸びと遊べる環境づくりに取り組んでいます。子ども一人ひとりが安心して自分らしさを発揮できる生活環境を整え、異年齢でのグループ保育によって、互いの違いを認め合いながら協力し合う「育ち合い」を旨としています。食事にも力を入れ、給食は天然の味と素材を大切に、安全な食材を使ってバランスの良い食事を手作りして提供しています。

地域向けの子育て支援を行い、伝統文化の継承、地域の発展を目的とした自治会、商店街や緑区が主催する行事に積極的に協力し、地域の発展に貢献できるよう努力しています。

また、今後を見据えて力を入れているのは人材育成の強化です。人材育成専任職員による新人研修やエルダー研修（入職2、3年目の職員による新人向けOJT）を実施し、今後の取り組みや将来に向けての指導を行うなど取り組んでいます。

防犯対策としては、警備会社のオンラインセキュリティーを導入し、24時間、不審者侵入や非常事態に対応し、保育室には非常通報装置を設置し、警備員が駆け付けるとともに、警察に通報されるシステムを整備しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年7月9日（契約日）～ 2021年2月15日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 2015 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

◆環境設定と活動内容を工夫して、より良い保育を旨として取り組んでいます

各保育室内は、好きな遊びに集中できるようコーナーづくりが工夫され、窓からの自然光とひのきの家具の温かみが調和した居心地の良い空間となっています。また、園庭の樹木や池、裏山の竹林など、子どもたちが自然と身近に触れ合える環境があります。園では年上の子どもと年下の子どもが互いを認め合いながら協力し合う「育ち合い」の保育を旨としています。3～5歳児クラスの縦割り保育を基軸に散歩や園庭遊び、製作、食育などの日常の活動に加え、発表会やお泊り保育などの行事を通して、子どもたちが主体的に活動できるよう取り組んでいます。子どもたちは日々の生活の中でさまざまな経験を積み重ねながら伸び伸びと園生活を送っています。

◆詳しくわかりやすい「しおり（説明書）」やマニュアルが生かされています

保護者向けの「入園のしおり（重要事項説明書）」は、全体で約50ページのボリュームがあり、園の保育内容、入園に必要な準備、入園後の健康管理、災害時の対応などについて詳しく記されています。保護者としては、何かあった時にまずこの「しおり」を見ることで、大半の対応がわかるものとなっています。一方、職員へ配付の「もりの風保育園業務マニュアル」も近く発行する新版では200ページのボリュームがあり、日々の保育活動で必要となる知識、手順、ポイントがていねいに記されています。詳しくわかりやすい「しおり（説明書）」やマニュアルは、保護者、職員の園や保育への理解を深め、日々生かされています。

◇改善を求められる点

◆理念、方針、目標の文面統一化に取り組まれることを期待します

「もりの風保育園業務マニュアル」において「保育の理念」として記載されている文章が、「入園のしおり（重要事項説明書）」では「施設の目的・運営方針」の項目で「目的」という表題で掲載されており、文末の表現が少し異なっています。また「業務マニュアル」での「保育基本方針」と内容的に近いものが「しおり」では「運営方針」として記載されていますが、そこには「業務マニュアル」では別項目で記されている「保育目標」が含まれています。文書によって「保育理念」「保育の基本方針」「保育目標」の記載内容が異なっていますので、さらなる周知や理解を促すために文章を確定させて、どの文書にも同じものを掲載されると良いでしょう。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、通常の保育、行事などができない中でしたが、これまでの自分たちの保育を見直し、より質の高い保育園づくりを目指し、第三者評価を受審しました。

全職員が自覚を持って自己評価を行い、評価項目ごとに検討したことで改めて自分たちの保育と向き合う、よい機会となりました。その中で、マニュアルの見直しや保育内容の検討を行い、不十分な点は話し合い改善していきました。

今回のような緊急事態だからこそ、子どもたちにとって、よい保育をするために必要な課題を明確にし、職員が連携して取り組むことの大切さを実感しました。

保護者の皆様には、アンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。高く評価して頂いた点、改善が必要な点と様々なご意見をいただき感謝しております。

評価者の方々には、保育方針として掲げている異年齢保育を基盤としたグループ活動や環境設定など細かいところまで評価していただき、嬉しく思っております。

今後はご意見や評価を真摯に受け止め、園児、保護者、地域の方々に寄り添った保育園を目指して努力してまいります。